

タイトル：2024 年度教育セミナー（第 20 回）

日時：2024 年 9 月 19 日（木）～22 日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室（303）

藤井沙希斗（九州大学大学院人文科学府）

本年度の中東☆イスラーム教育セミナーは、昨年に引き続き完全対面形式で開催され、多くの学生・講師の方々が活発なコミュニケーションや議論を交わすこととなり、個人的にも有意義な 4 日間になったと感じています。以下、セミナーを通じての感想を、講義と受講生発表に関してそれぞれ簡潔に述べさせていただきます。

6 名の講師の方々によるセミナーは、それぞれ異なる専門領域で研究されている立場からの講義となり、各分野の最先端を学ぶ貴重な時間となりました。特に、アカデミア外部の世界で活躍された経験のある河野先生の講義や、個別具体的な研究の営みを一般的な次元に抽象化して、研究に携わる誰もが自省すべき諸問題についてお話しいただいた後藤先生の講義は、印象に残りました。

受講生発表に関しても、問題関心やディシプリンが異なる学生の報告に触れる機会はこれまで少なかったもので、新鮮な感覚で拝聴しました。内容はもちろんですが、領域が違えば報告のスタイルも違い、形式面においても発表の「見せ方」が違うというのは、学びになりました。私は今回報告をしませんでしたが、自分と同じく歴史研究をされている学生の報告に関しては、問題設定や研究史、そして史料の提示の仕方まで、とても興味深く話を聞くことができました。レジュメの作り方にしても、自分のやり方と違う所を見つけたり、取り入れるべき点を学んだり、報告の内容以外の点でも吸収すべきことが多かったです。

本年度は、九州大学からの参加者は私のみとなり、学外でのイベントに参加するのに緊張する部分もありましたが、全国各地の大学から集まった同世代の学生から多くの刺激を受けることができました。空き時間・休憩時間には一部の方に声をかけていただき、学生生活の話から研究の話まで交わすこともできました。交流できた方々にこの場を借りて感謝を申し上げます。本セミナーでの経験を今後の研究活動の糧とすることができるように、4 日間を通じて得られたものを持ち帰りたいと思います。

最後に、今年で 20 回目となるセミナーの準備・開催・進行を円滑に進めて下さった、千葉様をはじめとする AA 研関係者の皆様、他の受講生・参加者の皆様に御礼を申し上げます。